

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	中学生海外派遣事業	所管	教育委員会学校教育部 学校教育課
			TEL 2998-9238

事業の目的 (何の為に 行うか)	将来の所沢を担う中学生の国際感覚や国際認識を高め、国際的視野から所沢市を見つめ、体験を報告する機会をつくることにより郷土愛を持ち、国際社会に対応できる人材の育成を図る。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市立中学校在籍生徒	対象とした数	7,886	人
		実際に 利用した数	30	人

活動の内容	(何を したか)	①市立中学校長の推薦により、面接の上、派遣中学生30人(男女各15人)を決定する。 ②事前研修を5回実施し、所沢市の代表としての自覚を身につけ、自己表現力を身につける。 ③シンガポール日本人学校の授業体験や現地校の生徒と交流をする。 ④グループ活動を通し、文化や現地の人の歴史にふれる。 ⑤派遣は、3泊5日。 ⑥市、学校等での報告会やパネル展示等で体験を伝える。							
		活動実績	項目名	派遣中学生	30	-----	項目名	派遣率	0.4
				単位	人			単位	%

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	3,286	3,134	8,301	24.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	報告会回数	各校の報告会+市報告会+展示報告+教育広報	18	18	100.0
			単位	回	単位
				回	単位
					%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	130100	TEL	2998-9238
事業コード	130105		中学生海外派遣事業			
開始年度		平成 11 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市中学生海外文化交流派遣事業実施要綱							
	関連・類似事業	姉妹都市交流事業(コミュニティ推進課)							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	1 教育内容の充実	小柱	(3)国際理解教育の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位				・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○			

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)	将来の所沢を担う中学生の国際感覚や国際認識を高め、国際的視野から所沢を見つめ、体験を報告する機会をつくることにより郷土愛を持ち、国際社会に対応できる人材の育成を図る。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方		各中学校代表者男女各1人、計30人				
	対象数	単位	平成 18 年度	7,886	人	平成 19 年度	7,886	人
	利用数	単位	平成 18 年度	30	人	平成 19 年度	30	人
	事業の具体的な内容及び実施方法 ①市立中学校長の推薦により、面接の上、派遣中学生30人(男女各15人)を決定する。 ②事前研修を5回実施し、所沢市の代表としての自覚を身につけ、自己表現力を身につける。 ③シンガポール日本人学校の授業体験や現地校の生徒と交流をする。 ④グループ活動を通じ、文化や現地校の歴史にふれる。 ⑤派遣は、3泊5日。 ⑥市、学校等での報告会やパネル展示等で体験を伝える。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	

平成19年度中に改善した点
現地校や日本人学校との交流の場を増やすとともに、班別行動を取り入れ語学研修の充実を図った。

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		3,279	3,286	5,421
	決算(見込み含む)		3,103	3,134	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	0.70 人	6,440	0.55 人	5,167
	公債費				
	事業費合計		9,543	8,301	
	財源内訳	一般財源	9,543	7,163	2,421
		国・県支出金			1,500
		受益者負担金			1,138
市民一人当たり(単位:円)		28.2	24.5		
利用数一単位あたり(単位:円)		318,100.0	276,690.0		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	派遣中学生	単年度の派遣中学生	人	30	30	30
	派遣率	派遣生徒数/在籍中学生数	%	0.4	0.4	0.4	
	成果分析	報告会回数	各校の報告会+市報告会+展示報告+教育広報	回	18	18	18

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	原油の高騰のため、目的を達成するための渡航先、派遣日数の検討も必要である。日本人学校及び現地校での交流や語学研修の充実を図る。		
	今期目標項目(何を)	派遣中学生に所沢市代表としての意識を高める。	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了

⑨個別計画における方向性	環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	実施の体系			
	実施の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1161
	基本目標	子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		